平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　15　日

部局名	財務部	所属名	管財課 工事検査室	所属長名	川戸　彰一郎	電 話	483-1151 内線3336

1. 事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	3060	事務事業名称	工事検査事業	短縮コード	経常	3060	臨時	

予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	工事検査費

区 分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	地方自治法・八千代市財務規則

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

地方自治法・八千代市財務規則等に基づいて，契約の適正な履行を確保するため工事検査担当部署が組織的に位置づけられた。

事業概要は，主に市が発注する工事の検査業務等。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測	総合計画の施策体系			
適正化指針に基づき工事成績評定結果の公表を２２年４月施行した。今後は、国・県の技術基準の改定と共に見直しを行い、又表彰規定の整備の検討を行っていく。	６本の柱（章）	07	計画の推進のために	
	大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営	
	中　項　目	03	第３章持続可能な行政経営の確立	
	小　項　目	02	(2)健全な財政運営の推進	
	細　項　目	03	③長期的な視点に立った財政運営	
	実施計画の計画事業			

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	工事請負契約を締結した１３０万円を超える工事。
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 工事担当部長から依頼を受けて，工事請負契約を締結した１３０万円を超える工事の完成検査、出来形検査及び中間検査。 ※平成24年度に計画していること： 平成23年度同様。
意図（何を狙っているのか）	契約の適正な履行を確保する。工事目的物の品質確保と向上。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区　分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	工事検査執行依頼書受理件数	件	85	90	122	120
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	工事検査報告書作成件数	件	85	90	122	120
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	検査に合格した工事の割合	%	100	100	100	100
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	3060	事務事業名称	工事検査事業	所属名	管財課 工事検査室

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	434	424	390	300
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			使用料及び賃借料３２６千円，消耗品購入５０千円	使用料及び賃借料３２６千円，消耗品購入６４千円	使用料及び賃借料３２５千円，消耗品購入６０千円	使用料及び賃借料１０１千円，消耗品購入１６０千円
人件費(B)			千円	17,212.4	16,955.9	16,922.3	16,913.9
トータルコスト(A)＋(B)			千円	17,646.4	17,379.9	17,312.3	17,213.9

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	工事検査体制の充実により品質の向上が図られる。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	継続した事業であり，常に人材の育成，業務・事務プロセスの見直しを必要とする。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	公共施設整備の品質確保の促進を図るため，統一かつ充実した工事検査体制が必要であり，民営化に馴染まない。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	財務規則に規定された事業であり，基本的な形は固定化している。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☑ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☑ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	工事発注部門とデータの共有化を図り，事務効率をアップさせる。今後は,国・県の技術基準の改定と共に見直しを行い，又表彰規定の整備の検討を行っていく。 類似事務事業名称 1： 実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2： 実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☑ ある ☐ ない	事務のIT化におけるシステム導入に伴う負担増。

コード	3060	事務事業名称	工事検査事業	所属名	管財課 工事検査室

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☑ 改革・改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

要領，基準等の見直し，事務のシステム化を順次行い，監督・検査業務を一体的な形として充実させていく。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費 削減	経費 不変	経費 増加
成果	向上	☐	☑	☐
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

ITを活用することにより，事務量の増加した煩雑な工事検査要綱・中間検査基準・工事監督要領・工事成績評定要領等の基準に迅速に統一的に対応できる。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

八千代市入札，契約制度検討委員会より，『監督・検査体制を充実し，工事品質の確保と優良工事の増加を図るよう』提言があった。

所属長コメント

公共施設の整備にあたり，工事技術また品質の確保が求められており，今後も基準等の見直しを実施し，統一された監督・検査体制の充実を図る。又，ＩＴ化を促進し，業務の効率化やペーパーレスによる省スペース・省資源化を図る。

評価調整委員会評価

- ☑ 改革改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

事務のＩＴ化については費用対効果を検証したうえで推進し，基準等の見直し，事務量の増加に対応すべく，効率的な事業の遂行に努めること。